

# KoSoDaTe

生まれてきてくれて  
ありがとう



## 経済面と心に余裕がない実態

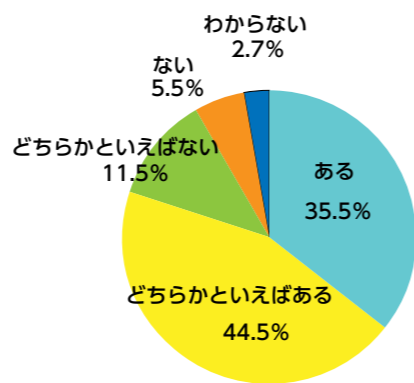
晩婚・高齢出産が増えている現代社会。2014年の厚生労働省の発表によると、初めて出産を経験する女性の平均年齢は30・6歳になりました。

厚生労働省の人口減少社会に関する意識調査で、0～15歳の子を持つ15～39歳の女性に「子育てへの負担・不安の有無」を聞いたところ、80%があると回答。理由については、経済的なものが上位2位を占め、続いて「自分の自由な時間が持てない」「精神的な疲れが大きい」と続く結果になりました。

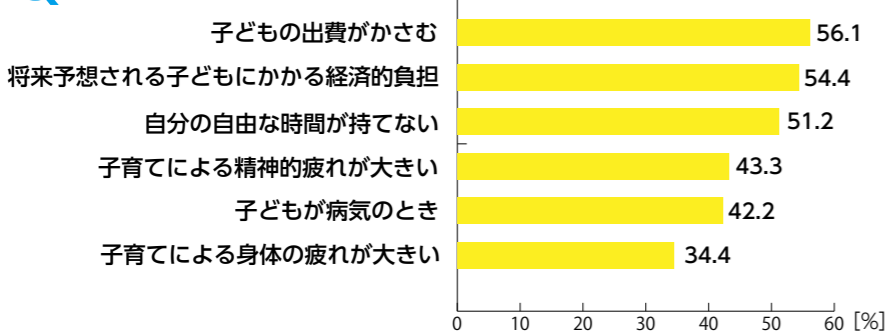
## 子育てに不安はつきもの？

妊娠・出産・育児・その後の子育ては、それまで経験したことのない生活を積み上げていくわけですから、不安があるのも当たり前。取材で1歳の子を持つ母親に話を伺いましたが、「母子の体調が安定するまでの出産後数カ月間は、それまでの自分では経験したことがないくらいにイライラと孤独感を感じる機会が多かった」と、初めての育児体験を語ってくれました。もちろん、わが子は愛しているのに…余裕のない生活が続くことで精神的に不安定になってしまいうこともあるようです。

## Q. 子育てをしていて負担・不安に思うことはあるか？



## Q. その理由は？



※いずれも人口減少社会に関する意識調査(厚生労働省:H27)結果より作成。 ※小数点第2位以下、四捨五入。

## 現状を知る

子育て世代の持つ悩みは人それぞれ。国の調査結果や数多くの母親と接してきた助産師の言葉から、子育てを楽しむために必要なことを考えます。

## Know

### 妊

娠は、お母さんにとって親になる喜びや責任を実感する最初の第一歩。特に初めての出産となると、嬉しさの反面、不安を感じる人も多いでしょう。

子育てに奮闘する数多くのお母さんを見てきましたが、出産を控えた妊娠後期から育児期にかけては、不安や悩みを抱えやすい傾向にあるようです。「無事生まれてくるのかな」「出産の痛みが耐えられるかな」。そう思いながら全力で出産を終えた後は、体力の十分な回復を待つ間もなく子育て生活が始まります。

育児期の生活の大半は赤ちゃんと接する時間なので、関わりがうまくいかないと言え、過度な負担に感じ、虐待につながってしまう場合もあります。ミルクを飲ませても抱っこしても泣き止まない赤ちゃんに「どうして泣き止んでくれないの」と苛立ったり、「病気になるのかな」と不安を感じてしまう

子育ては大変ですがそれ以上に楽しいことがあります  
周りをうまく頼って子どもと向き合いながら子育ての醍醐味を感じてほしいですね



熊田 照代さん (新生児訪問担当助産師)

わが子が生まれてきた時の感動は、他の何にも代えがたい瞬間だったでしょう。その瞬間から人は親になります。そして、子どもと日々向き合う生活の中でそれまで経験したことのないことを学び、親として成長していくのです。子育ては親にとってもそれだけ価値のあるものと言えます。しかし、経験のないことをこなしていくには不安も伴います。「ちゃんと育てられるだろうか」「こういうときはどうすれば…」子育てにはさまざまな発見や喜び、楽しみのほか、こうした不安や悩みなどもつきもの。国の調査では、特に子を持つ母親に不安や悩みを抱えるケースがみられるようです。少子高齢化が叫ばれる現代で子どもを元気に育てるために必要なことは何なのか、今回は子育てについて考えます。